

安曇野市文化振興計画策定市民委員会 会議概要

| | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 協議会名 | 平成21年度第1回安曇野市文化振興計画策定市民委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成21年8月7日 午後1時30分から午後3時30分まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市穂高交流学習センター“みらい”地域学習室 |
| 4 | 出席者 | 笹本委員長、百瀬副委員長、三原委員、濱委員、小山委員、伊澤委員、三原委員、矢ノ口委員、石田委員、細川委員、降旗委員、鈴木委員 |
| 5 | 市側出席者 | 望月教育長、北條文化課課長、上條文化振興係長、那須野文化財保護係長、財津文化振興係主査、三澤文化振興係主査 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 2人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成21年8月17日 |

協 議 事 項 等

| | |
|---|---|
| 1 | <p>会議の概要</p> <p>(1) 開 会 (北條課長)</p> <p>(2) 委員の委嘱 望月教育長より委嘱書交付。</p> <p>(3) 教育長挨拶</p> <p>(4) 委員紹介</p> <p>(5) 役員選出(正副委員長) 委員長は笹本正治氏に、副委員長は百瀬宗治氏に決定。</p> <p>(6) 協議事項</p> <p>(7) 閉 会 (北條課長)</p> |
| 2 | <p>協議概要</p> <p>(1) 安曇野市文化振興計画策定の概要について</p> <p>委員長・私たちがやらなければいけないことは未来の安曇野市をつくっていくこと。すべての住民にとって本当に文化が感じられるような文化振興計画をどうやってつくっていくか、ぜひご協力をお願いしたい。まず資料の説明をお願いしたい。</p> <p>事務局【資料内容説明】</p> <p>委員長・市民が豊かに生活することが文化だと私は考えている。まずは文化を広く捉えていただきたい。そして、「文化」とは何かを共有したい。理想とは別に解決していかねばならない問題がある。安曇野市が一体化していないことも問題で、市民委員は地域にとられず全体を考えて欲しい。この計画は市民委員が主役となる。議論の末に計画が策定されたら責任を持って推進して行って欲しい。</p> <p>委員・安曇野市が一体化していないことは大問題。住民は文化と接点をもたなくても生活ができる。例えば文化財にどう接し、知識や見識をもつか。</p> <p>委員長・言葉や食べ物も文化。日常生活すべてが文化と捉えないと無理だと思う。市民委員は所属団体や、専門の分野を超えて議論をし、市民が豊かに生きていく方策を考えたい。豊かに生きていくために文化財も存在する。古いものを大事する有用性を訴えていく必要がある。</p> <p>委員・安曇野市がどう進んでいくべきかというイメージが必要。</p> <p>委員長・まずは理念を確認し、その後、個別具体的な点をどうするか検討したい。</p> <p>(2) 文化施設・文化活動の現状と課題について</p> <p>事務局【資料内容説明】</p> <p>委員長・市内に施設がたくさんある。これらの施設が相互に協力して展示を行えば、さらに魅力的なものとなる。2回目は施設を見ていく。</p> <p>委員・文化の雰囲気をもっとも漂っているところは学校。学校の校歌にもすごい思いがある。こどもたちに文化をどうやって伝えていくか、文化とは一体なにか、考えていく</p> |

ことが大事。

委員長・文化とは、という部分で共通認識を持つため、ご意見をいただきたい。

委員・・・文化とは生活だと思う。生活というのは見えない部分もたくさんある。これらをどう捉えるか。

委員長・古い文化を守ってだけでなく、良い文化を作っていく提言をしていきたい。

委員・・・中学生の時、礫山美術館建設のため石を運んだ。石を運ぶ苦勞から館が生まれた。この思いに「文化」の香りをを感じる。

委員・・・先生が礫山美術館を作った時の作業の様子を映像に残していた。映像に残したもの、これを撮影しようとした行為に文化を感じる。

委員・・・具体的に検討することとは、予算や人といったことを含めてということか。

事務局・予算については別組織で検討する予定。

委員・・・山や農村といったものは含まれないのか。新しい範囲を築いて計画を策定していきたい。

委員長・単なる夢のような話に終わらないために、予算などの現実的な情報も流して欲しい。

委員・・・まず「文化とは」という記述はとても良いと思った。河合元文化庁長官が鳥のさえずりも文化だといっていた。細川元首相の本で熊本県知事時代に「田園文化圏」という構想をたてたとあった。

委員長・安曇野市の文化振興策は、安曇野市でしか通用しないものにしたい。

委員・・・確認だが、環境ということは触れないということか。

事務局・環境基本計画に具体的な記述がある場合は触れないということ。

委員・・・なんでもかんでも文化だということではない。対象となるものに線を引いていくことが市民委員の役割だと思う。

委員長・無形民俗文化財に優れたものがたくさんある。こういったものをどうするか考えていかなければいけない。

委員・・・この地域の大事なものを具体的に挙げ、どうしていくか考えていくよう進んでいってほしい。

委員・・・安曇野の住民が豊かになるようにというのはよく理解できる。「文化」まではわかるが、「文化の振興の方策」を考えなければならない。「安曇野らしさ」のあるものを抜き出し、その中から具体的な方策へとつながっていくのだと思う。

委員長・有形のものに目がいくが、安曇野らしさにつながる無形のものも大切だと思う。委員の皆様が柱になるようなものを持ち寄り、あげて行っていただきたい。振興計画をつくること自体が教育だと思う。

委員・・・公民館活動を通じてある程度成果があった。転換期だと思う。行政にこういうことをやったらどうかと提言するのか。

委員長・市民委員会は、市への要求機関ではない。私たちが文化を引っ張っていくということだと思う。

委員・・・文化課所管の施設の範囲内で考えていくのか。

事務局・民間施設との連携なども包含して文化振興計画を作成していきたい。

(3) その他

事務局・今回は市が持っている資料をできるだけ用意したい。文化施設を実際にみていただきたい。